青年農業者の育成
～士幌町畑作農業青年ゼミナールの活動～

十勝農業改良普及センター十勝北部支所地域第二係　士幌町

1　活動対象及び概要

・対象：士幌町内の就農５～10年程度の若手農業者20名
・概要：士幌町畑作農業青年ゼミナール（以下ゼミ）の学習会およびプロジェクト活動支援

2　背景・ねらい

青年農業者

後継者として農業に従事しているけど・・・

実はわからないことだらけ
気軽に聞ける仲間もほしい

JA士幌町が開催した基礎講座を引継ぎ
ゼミとして組織化

「士幌町畑作農業青年ゼミナール」

若手農業者
（就農５年程度）
の学びの場の創出

プロジェクト活動
を通じた
課題解決手法の習得

月例会（講座）

プロジェクト活動
（令和２～３年度）

3　活動の経過

役員会を組織し、普及センターが事務局として運営補佐にあたった。
士幌町役場産業振興課の手厚い活動支援により、プロジェクト活動にも注力できた。

年度	組織の動き	活動内容	人数
H30年度	JA士幌町により「士幌町畑作農業後継者基礎講座」発足	基礎講座（６回）	就農５年以内の12名
R元年度	「士幌町畑作農業青年ゼミナール」として組織化	月例会（９回） プロジェクト活動（７回）	19名
R３年度	ゼミ活動 （コロナ禍により活動が制限）	月例会（８回）共済の学習会など プロジェクト活動（７回）	20名

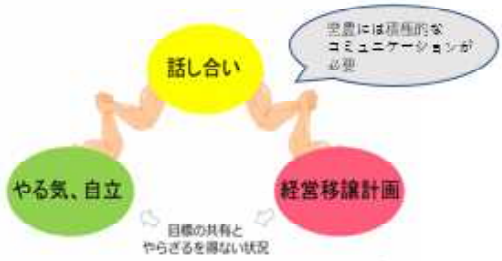
- 農村ゼミナールや北海道青年農業者会議などにも積極的に参加
- 令和２～３年度に行ったプロジェクト活動はアグリフォーラムin十勝で発表
- その他、しほろアグリサミットや十勝管内指導農業士・農業士会研修会でも発表

4　活動の成果

ゼミナールの活動支援　※プロジェクト活動含む
（例会開催回数 現状10回→目標10回→実績８回）

成果①　活動を通して、営農に「話し合い」が必要だと再認識

結果を経営者にも報告したことがゼミ生だけでなく、経営者の意識の変化にもつながった



成果②　北海道青年業者会議や全国青年農業者会議などで報告

北海道青年農業者会議（地域活動部門/最優秀賞）
全国青年農業者会議

成果③　地域の女性グループ等で報告し、地域全体へ波及

士幌町内の女性グループや指導農業士会等で報告することで、ゼミ以外へも親子での「話し合い」が大切なことを波及できた

成果④　ゼミ生の変化→自分に足りない物を意識し、勉強に意欲的になった

5　今後の対応

プロジェクト活動にも区切りがついたこと、農業後継者の学びの場を継続するため、新たに「士幌町畑作農業青年ゼミナール」を開講し、普及センターが企画・運営を行うため、地域課題としての活動を終了する。